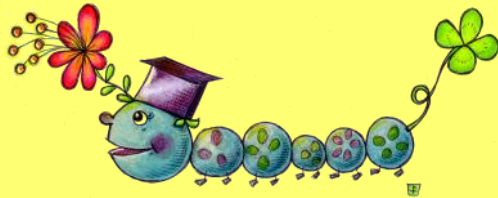


福岡県立大学同窓会会報

第25号

福岡県立保母養成所
福岡県社会保育短期大学
福岡県立大学

福岡県立保健婦養成所
福岡県立公衆衛生看護学校
福岡県立看護専門学校
現在会員数 10,620名



福岡県田川市伊田4395
福岡県立大学内
福岡県立大学同窓会事務局
TEL(FAX)0947-42-2777



平成25年3月19日

県立大学卒業式

学部生、大学院生の264名が同窓生の仲間入りをしました！

目次タイトル	頁	目次タイトル	頁	目次タイトル	頁
会長・新副会長挨拶	2	総会に寄せられたメッセージ・近況報告	9-13	大学教員動向、福岡県立大学応援歌、秋興祭PR	17
副理事長・看護学部学部長挨拶	3	慶弔情報、幹事交代、同期会報告	14-15	秋興祭チケットプレゼント事務局より、次回総会案内	18-19
第25回同窓会総会・シンポジウム 懇親会報告	4-8	同窓会活動への寄付者一覧	16	「つながり」を求めている私たちの思い ~ねじれ同窓会の現状~	20

あやまりに気づき改善できる柔軟性を

同窓会会長 川上 鉄夫

同窓会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。日頃から同窓会活動にご理解・ご協力を賜りありがとうございます。



今年度は2年に1回の総会開催の年で、8月25日に北九州市小倉北区において開催し、当日は多くの会員の皆様の出席のもと、提案議案等につきましては、すべて承認していただきありがとうございました。また総会終了後には「地域資産として期待される県立大学の姿」についてシンポジウムを開催し、森山副学長をコーディネーターに、同窓生や地域で様々な活動をされておられる3名のシンポジストの皆さんにより、現状や今後の課題等について報告等をしていただきました。ありがとうございました。同窓会としても引き続き可能かつ有効な大学支援に取り組んでいきたいと思っております。

また、2年前の東日本大震災後の募金活動には多くの会員の皆様から暖かいご協力をいただきありがとうございました。震災後の町づくりにはいろいろな課題があり、私たちも出来る範囲で今後とも見守って、出来る方法での支援をしていかなくてはと思います。

さて最近、福祉現場で気になることがあります。皆さんもご承知のとおり、昨年10月に障がい者虐待防止法が施行されました。今回は養護者、使用者、障がい者福祉施設での障がい者虐待がこの法律の対象とされており、学校、保育所等、医療での障がい者虐待防止のための措置については、それぞれの長・管理者に義務付けられています。虐待の通報等の窓口は、市町村となっております。通報があれば事実確認をすることになります。措置から契約制度になっているにもかかわらず、施設サービス利用者に対し、虐待行為をするなど、信じがたい事象が発生しております。新聞などの情報によれば、福祉のベテランである責任者が虐待をしたケースなどがあり、非常に残念に思います。人間何歳になっても驕ることなく、自分自身の誤りに気づき、悔い改める柔軟性を持ちたいものと思います。「愛のムチ」と言って暴力が認められるものではありません。また発達障がいがある子どもの保護者に「あなたの育て方が悪いからこのようになる」と不適切なことを言って、保護者を追い込むような事象もあるようです。もし、このような事象を少しでも感じるようなときは、組織的に迅速且つ適切な対応をしていただきたいと思います。虐待に関する事象のとき

は躊躇せずに市町村に通報するようにしてください。匿名でも、また、疑わしい場合でも通報することで、障がい者の権利利益の擁護に繋がる場合が十分考えられます。

児童、高齢者から障がい者へと虐待防止法の整備がされました。福祉施設で虐待を行うのはほんの一部の限られた関係者と思いますが、絶対に見過ごしてはいけないことです。虐待が根絶されることを願っています。

最後に同窓会の更なる発展のために、区切りある2年間の活動を目指し、努力をしていきたいと思っておりますので、同窓会会員皆様のご支援ご協力をよろしくお願いします。



福岡県立大学同窓会副会長就任にあたり

同窓会副会長 杉本 眞佐子
(保母養成所15期)

風立つ夕暮れに夕顔の花数を数え記すのが楽しみの日課となりました。たった2粒の芽株から今夏の猛暑の中を透き通った空気をかぎ分け、葉を繁らせ蔓をのばしてきた夕顔、素敵なグリーンカーテンに育ち気品ある白い大輪の花姿を見せてくれるようになりました。



中秋の名月を愛でる季になり、十五夜と満月が重なるのは、この次21年という絶好の月明かりに微笑むかのように38個の花弁が咲き誇り、甘い香気が辺りを被っています。つる先は白絹のハンカチーフをかざしているよう、月のしずくを吸って咲くとはこんな様を言うのでしょうか。さすが光源氏が愛した夕顔、差し込む朝陽に花びらを閉じ、また新しい花を咲かせる一夜花の今宵かぎりの月との出会いを想い天空を仰ぎ見ました。咲きっぷりの見事さに月に帰りかけたかぐや姫が見とれ、閉じた花弁にふと気がつくとも月は無く、さあ、今夜の月で帰ろうとしたがまた見とれ、の繰り返しだったりして…なんて想いをめぐり巡らせ楽しみは深き天空にもありました。夕顔と月の出会いを想いながら福岡県立大学同窓会会員の皆様の、福岡での出会い、田川の地での出会いを想い、皆さんに愛され大事に思われ輝いている同窓会であるよう会員の皆さんと共に同窓会発展の一翼になれればと、思いを新たにしています。

県立大学の今

福岡県立大学副理事長 田中 豊司

卒業生の皆様、こんにちは！副理事長の田中でございます。私は主に学生に関する事に携わっています。従いまして、学生の目線からお話してみたいと思います。

現在(平成25年5月1日) 教員数110名(うち人社48名、看護62名)、職員数21名(臨時職員除く)、学生数1106名(うち人社725名、看護381名うち大学院生52名、男女の比率、男子222名・20%、女子884名・80%)で少しずつ男子の比率が高まっています。サークル数50【うち体育会系17、文化系33(うちボランティアサークル11)】と近年50サークルぐらいで推移しています。

次に平成24年度各種国家試験合格率の状況です。社会福祉士(現役)70.4%(全国18.8%)、精神保健福祉士(現役)88.0%(全国59.6%)、看護師98.6%(全国94.1%)、保健師96.2%(全国97.5%)、助産師100%(全国98.1%)と極めて高い合格率を維持しています。

続きまして平成24年度の就職率は人間社会学部95.8%、看護学部100%と全国大学平均93.9%を大きく上回る状況です。

次に国際交流では交流協定校5校(中国2校、韓国2校、タイ1校)、留学生数は受入が17名(中国10名、韓国7名)派遣が11名(中国3名、韓国6名、その他2名)です。今後は、受入留学生を50名以上にし、県大の中でも国際感覚が養え、グローバル人材が育つようにしたいと考えています。また、毎年イギリスとハワイに語学研修で50名以上の学生が参加しています。最近ではチャンスがあれば、海外に行きたいと考えている学生が多くなりました。

以上より、『県大の今＝更に発展している姿』がご理解いただけたのではないのでしょうか？

一方、【大学の主役は学生】という信念のもと大学運営に学生の声を反映させたくて毎月3～4サークルずつ懇親会をおこなっており、いろんな意見がでて、大変参考になります。また、現役学生の声もさることながら卒業生のご意見もどしどしいただければと考えてます。どうぞ、ご遠慮なくお申し付けください。

話題は変わりますが、開学当初から県大の学生を見守り続けてきました旧正門わきの大きな“けやき”2本は、道路拡張に伴い、現正面玄関ロータリーの中とコンサート広場のグラウンド側にそれぞれ移設しています。機会がありましたら見てください。

最後になりましたが、皆様が礎を築いていただいた県大を更に発展させていく所存でございますので、今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

また、福岡県立大学同窓会のますますのご発展と同窓生のご活躍・ご健勝をご祈念申し上げます。



留学生と鷹取山に登った時の写真です。
(私は前列左から2番目です。)



看護学部教育が新しく走り出しています！

福岡県立大学看護学部
学部長 永嶋 由理子



平成24年度より、福岡県立大学看護学部の学部長に就任致しました永嶋由理子と申します。看護学部は平成15年に開設され、同窓生の皆さまや地域の方々に支えられながら今年で11年目を迎えます。平成24年度に、将来看護をリードしていくことができる看護専門職育成の充実を目指した新しいカリキュラムがスタートしました。学部教育の特徴として、西洋医療と東洋医療の統合を図りながら、人間の健康にかかわっていくことができる専門職を育成することをねらいとした科目の構成を行いました。特に西洋医療が得意とする細分化された人間の見方や捉え方だけを学ぶ科目だけでなく、東洋医療が得意とする人間を丸ごと見ていく捉え方(ホリスティック)の科目や、「日本古来の医学的な視点(和漢)」で人の病気の变化を全人的に捉えて技を身につける科目、「中国伝統医学」によって、人の体を全体のバランスでみることができる技を学ぶ科目など、他大学では学ぶ機会が少ない科目を配置しています。また、学部教育の充実を図るために、新カリから保健師教育は選択制に助産師教育は大学院へ移行することとなりました。さらに、平成25年度入学生からは3年次編入生制度を廃止し、教育内容に関する均一化を図りました。新カリでは学ぶ順序性や関連性を考慮して科目立や配置等に特徴と工夫を持たせましたが、4年間で学習すべき内容は膨大で看護師国家試験の受験資格を得るためには卒業要件として128単位取得しなければなりません。その内の97単位は指定規則と言われる看護師教育に必要な必修科目が設定されています。学生たちはハードな4年間を過ごすこととなりますが、教員や周囲の人々に支えられながら立派に成長を遂げてくれている姿に学部長として誇りを感じると同時に、学生を見守り支えて下さっている同窓生の皆さまに感謝を申し上げます。これからも、看護学部を温かく見守り支えて下さいますことをお願い申し上げます。

第25回同窓会総会 平成25年8月25日

第25回福岡県立大学同窓会総会が、小倉リーセントホテルにて開催されました。

総会参加者60名：保母養成卒14名、社保短卒16名、福県大卒（大学院卒を含む）7名、県看卒13名、特別会員（卒業校教職員）来賓3名、事務局スタッフ（学生スタッフを含む）6名、託児1名でした。

※総会議題につきましては、総会案内に同封させていただきましたので、そちらを参照願います。

総合司会：小寺一恵（県看5期）さんにより総会がスタート、会長挨拶の後、議長選出が行われ、肘井政厚（社保短3期）さんが選出、議題審議が行われました。

①平成23年度・24年度事業報告、決算報告・監査報告があり一括承認されました。

②役員改選が行われ、平成25年度・26年度役員に以下の方が選出されました。



会長：川上鉄夫（福岡県社会保育短期大学4期）再任
副会長：郡谷忠士（福岡県立大学社会福祉学科1期）再任
副会長：野口久美子（福岡県立看護専門学校保健婦助産婦科2期）再任

副会長：杉本眞佐子（福岡県立保母養成所15期）新任
③新役員により、平成25年度・26年度事業計画案、予算案の説明提案及び会則改正案・慶弔規程案の提案があり、事前に提出された質問に対して事務局並びに会長より回答が行われました。

事前質問1：慶弔規程案が議題審議で上がっているのですが、慶弔規程案施行の際の予算立てをしておくべきではないのか？

事務局回答：本日提案が承認いただいた場合は、附則によりH26施行される。今まで慣例で行われた部分については、渉外費としてすでに予算化されている。その他は、H26は予備費より拠出。H27以降は、予算案作成時に計上していく。

事前質問2：平成24年4月1日より施行の入会金・会費規程、年会費免除の別表について、シニア、パートナーズ、ファミリーと免除対象を設けるのであれば、本学の方針を考慮し、障がい者への配慮もあるべきである。障がい者について別表に追加する形で減免制度適応の提案をする。

会長回答：入会金・会費規程については、幹事会の中で、長年会費を納めている会員より、名誉会員制度等の要望が出ていた、それを受け、四役会・幹事会で議論し、パートナーズやファミリーも検討対象として、

前回総会提案・審議・承認と経過してきている。

75歳以上（高齢者）の免除に対しては、福祉的な意味と永年の貢献に対しての免除と考えている。障がい者への配慮に対して貴重なご意見だと思う。福祉的な意味の提案で、減免を対象にする部分を障がい者だけでなく、難病、所得の低い方等への配慮、等全般的な福祉への配慮を考え、議論を進めていきたい。幹事会で審議し次回総会へ提案していく方法を考えたい。

・同窓会収入については、看護学部同窓会立ち上げに対して、入会金減が発生し、年会費も納入率が下がっており、事業は繰越金を拠出していく形で活動している現状であるので、幹事会でしっかりと議論を進めていきたい。

その他会場質問はなく、平成25年度・26年度事業計画、予算及び会則改正・慶弔規程が承認されました。

④報告事項

【看護学部同窓会との協議についての経過報告】

看護学部同窓会と本同窓会の一本化にむけて、看護学部同窓会看護学部長に連絡をとったり、話し合いのための文書を出している。県立大学看護学部を卒業校が発展解消した母校と考え、また先輩の出された意見を編集し、一本化に向けての話し合いをしたい旨を伝え、7/12までに回答を求める形で文書を出したが、回答はいまだにない。本同窓会としては、引き続き、一本化を目指して協議をしていきたい。

⑤事務局報告

本年度、会報発送の日程や発行対象の変更を行った。総会案内（年会費納入願い）を7月に発送、総会后、年会費納入者へ会報を配布とした。

東日本大震災に対する寄付金を平成23年度・24年度とお願いしたところ、116名の同窓会会員から69万の募金が寄せられた。（募金先等の詳細については、会報24号に掲載）

議題審議終了

⑥新役員紹介

会長から役員紹介後、副会長より新役員抱負をいただいた。

⑦事務局より役員追加報告

常任幹事（保母養成所4期）月脚雅子 再任
会計監査監事（福岡県立大学2期）石本光輝 再任
会計監査監事（福岡県立大学13期）岳尾美代子 再任

⑧役員退任挨拶

副会長（保母養成所15期）川口克代さんより退任のご挨拶をいただきました。川口副会長は、平成21年総会にて副会長に選出され、2期4年間、副会長として同窓会活動にご尽力いただきました。ありがとうございました。



シンポジウム 「地域資産として期待される県立大学の姿」

コーディネーター

森山沾一教授
福岡県立大学副学長、
福岡県立大学附属研究所長



シンポジスト



植木康太：福岡県立大学と共に歩む会副会長、未来塾
中村成也：県大社会学科7期生 CDR21代表
竹内志織：県大人間形成学科4年 2012年度秋興祭実行委員(渉外部長)

まず、森山先生より「地域と共に歩む大学」～体験学習による質の向上と地域活性化をつなぐ～と題して、県立大学の歴史と現状を説明。保母養成所、看護専門学校の頃から、ボランティア活動に取り組む学生が非常に多いという伝統が県立大学にも引き継がれ、7割の学生がボランティア活動を経験している中で、社会貢献支援センターが設置され、地域との連携をはかり、「地域とともに育つ大学・大学とともに育つ地域」を目指しているとのことがありました。

次に地域代表の植木康太さんより、「福岡県立大学と共に歩む20年」と題して、4年制大学設立秘話や歩む会の成り立ち、20年間の活動を発表いただきました。地域が大学誘致を歓迎し、入学式に鉢植えをプレゼントしているのは、それを持って田川の街を歩き、「今年も入学生がきた」と伝えて欲しいと話され、大学と地域とのつながりを温かく考えられていることが伺えました。共に歩む会の活動は多岐にわたり、花いっぱい運動、You遊マップ情報誌の制作、大学の教職員と住民が触れ合う交流会、留学生支援、街灯設置運動では資金作りのためオーナー制度を考案などあり。7月には県立大学と共に歩む会創立20周年記念事業「ASIAN PARTY」を開催されたそうです。韓国・タイ・中国からの留学生を迎え、家庭に招いて日本の手料理をふるまったり、農業体験、文化体験、自然体験などさまざまな支援を行う中で、我々を見つめ、日本の良さを見つめるというのが、副次的な収穫だと思っているとのことでした。



卒業生代表中村成也さんからは、「田川が好きでたまらん」と題して、お話いただきましたが、手拍子に合わせて炭坑節の披露から始まり、会場がいっぺんに和み、心をぐっと掴まれました。

学生時代はサークル活動に力を入れ、1～2年で輪を広げ、3年生で自治会の代表、そして祭りのお手伝いとして地域へ出ていくようになり、地元田川をもっと知りたい、知って自主的に活動したいと思われたとのことでした。

た。その中で誕生したのが「パラパラ炭坑節」、この創作炭坑節を踊るユニットとしてCDR21を立ち上げ13年間活動を継続しているそうです。炭坑の仕事唄、炭坑節に関しては田川一の知識を持ち、誰にも負けないと自負されていました。その他、田川ホルモン鍋のPR活動、地元キャラクター堅抗戦隊「クロダイヤー」ショーの開催、炭坑節のルーツを掘り進む輪月(わげつ)の取り組みを行い、田川が好き！を形にしていく、熱い気持ちを語っていただきました。田川には土の中に息づく文化が眠っている、それを掘り起こす第二の炭坑夫(セカンドコールマイナース)として活動していきたいとの言葉が心に残りました。

在学生代表竹内志織さんは、「地域とのつながり」学園祭実行委員会での活動そのものが、自身の成長につながったというお話でした。

1、2年生の頃は楽しく、3年生になって渉外部長を引き受け、地域の方々との関わりが増え、県大生が地域から愛され、とても信頼されているという実感を持ったと話されました。ただ、様々な活動の中で、地域の方々の要望と自分たちのやりたいこと、やれることとのギャップを感じてしばしば悩むこともあったというお話も聞かれました。



3年間の学祭活動を通して、「人間関係」「社会のつくり」「リーダーシップ力」「対話力」「自分への自信」と多くのものを獲得でき、就職活動にとっても役に立ち、これらのことが基本になって現在の自分があると感じているそうです。今後も自分がかえてくれた仲間たち、先輩方、田川の方々に感謝しながらこれからの人生を歩んでいきたいと締めくくられました。



シンポジストからの提言

竹内さん：同窓会がもっと学祭に関わって欲しい、学祭の日が同窓生の集まる日になれば。

中村さん：クラブハウスの設置や大学構内の施設時間の緩和など、サークル活動の環境整備。母校にひとつでもふたつでも関わりを持って。

植木さん：アジアに開かれた大学を田川から発信することがどんなにすごいことか、共に歩む会の活動をこれからも継続していき、感謝の気持ちをしっかり持って、地元に戻元していきましょう。

まとめとして、学園祭に集まる日の企画(ホームカミングデー)を同窓会として考え、県立大学と一緒に盛り上げていただきたい。大学の学生、教員も含め、母校愛といったものが地域と一緒に育っていけば良いのではないかと考えています。また、学内の設備、日本庭園の維持費など、何らかの基金を作っていこうと考えています。同窓会会長が大学の経営協議会委員として大学経営に関わっていただいていますことも大きなことです。県立大学へますますの支援をお願いしたいと森山先生は、笑顔で締めくくられました。

懇親会

懇親会参加者 61名：保母養成卒14名、社保短卒15名、福岡大卒（大学院卒を含む）6名、保健婦養成卒0名、公衛看卒3名、県看卒13名、特別会員（卒業校教職員）来賓3名、事務局スタッフ（学生スタッフを含む）6名、託児1名

来賓紹介

福岡県立大学 副学長 森山 沾一
 福岡県社会保育短期大学元教員 俵国 昭
 福岡県立大学と共に歩む会 副会長 植木 康太

○乾杯の音頭を森山副学長音頭で乾杯、円卓テーブルにて歓談しながら会食を行いました。



○来賓方々に県大の現状、思い出、社会保育短大の学生について、田川地域と大学についてなどのお話を交えながらご挨拶いただきました。



○少しの歓談ののち、卒業校別に出席をとるような形で、その場に立ってご挨拶いただきました。



○大学祭実行委員会5名より、今年度秋興祭（22回）11月9日10日のアナウンスがありました。



総会司会を担当下さった県看看護婦科5期小寺さん(↑写真右側)

社会保育短期大学1期のお二人 →



○お楽しみ抽選会 懇親会アンケート用紙に貼り付けてあった番号をもとに、大抽選会を行いました。

- ★開学20周年記念誌 「ひらく夢～筑豊に生まれて～」
- ★遊・ゆうマップ（植木様提供）
- ★山本作兵衛炭鉱画集
- ★観光タイル2組（三井田川炭鉱・川渡り神幸祭）
- ★クオカード千円
- ★たがたんクリアファイル（たがたんは田川市のゆるキャラ）



当たった方の喜びの顔



○当番期は、出身校ごとにステージに上がり、代表の方よりご挨拶いただきました。



県看保助科5期

保母養成所15期



社会保育短期大学3・4期

総会議長肘井さん(↑写真右から3番目)



県看看護婦科5期



○希望者によるアナウンスで
県大大学院修了 大森ちづるさんより
福岡県立大学大学院アピールが行われ
ました。



保母養成所2期の岸上美智子さんより
高齢者向けボランティア実践のお話
と楽しい体操紹介



○閉会の挨拶
(懇親会司会：県大17期松本実華)

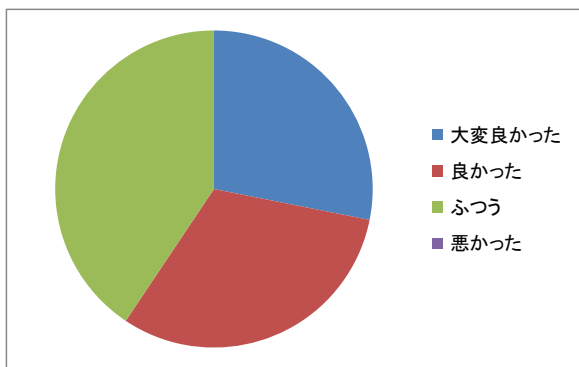
次回の総会は同期にた
くさん呼びかけたいと
思います！！



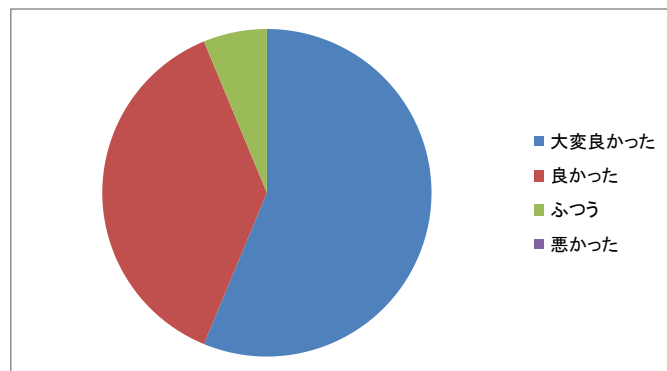
シンポジスト在学生代表、竹内志織さんより

今回、地域とのつながりというテーマで、学園祭実行委員会での活動を通して経験したことのお話をさせて頂きました。自分の思いを伝えることができ、その思いを同窓会の皆様に理解して頂けたことが、本当に良かったです。発表をするにあたって、改めて田川の皆様とのつながりについて考えることができました。そして、田川のこと、田川の皆様のことが大好きなのだということを感じました。大学生活も残りわずかです。この恵まれた仲間、環境にあまえることなく、自分自身でも何か発信できたらなと思います。今回、このような素晴らしい機会を頂いたことに感謝致します。本当にありがとうございました。

総会全体評価



シンポジウム評価



・出席者数の少なさには驚いた。「また、来よう」という気にはなかなかなりにくい。男子の出席は？

・同窓会が統一できれば！

・よく理解できました。役員の皆様、今後ともよろしく願いいたします。

・初めて参加させて頂きました。役員の皆様方、いつもお世話いただき、まことにありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。

・資金繰り…大変ですね。

・スムーズに進んだ。

・同窓会と大学の距離感が近くなったと思います。

・まず、総会に参加して頂けることが大切です。どうすれば、参加率がよくなるのか？頭が痛いところです。予算も少なくなってきました。年会費を増やすことを考えていきたいです。

・スムーズに予定通り出来てよかった！

・天候のせいもあってか、参加者が少なかったのが残念でした。お世話して下さいました方には、とても感謝しています。お世話を答えられる会になっていける事を願います。

・初めて「同窓会」に参加致しました。保母養成所からの流れ、また、同窓会の持つ問題(看護学部が別の同窓会を作っている)というのが大変よく解りました。やはり、県立大として一本化される事が好ましいと思います。頑張ってください。

・現在の同窓会の動きについて理解できました。

・人数が少なかったけれども、有意義で同窓会には参加しないといけないなと思いました。自分の学び舎の現状を知ることができたので良かったです。会費の件、意見を言うのに勇気がいったので言えませんでした。障がい者の方の人数はそう多くないことなので、そういう方のことも考えている同窓会はあまりないので、良いことだと思いました。それ以上に他の方の同窓会費納入に力を入れたら、解決するのではないかと考えます。

・総会参加者が少ないことがとても残念です。北九州近隣には多くの卒業生が居るのに、年々少なくなるようですね。各期の幹事がもっと声掛けして盛り上げていくよう、努力・工夫したらと思います。

・地域に愛され、地域と共に歩む学生の姿、それをサポートされる植木さん、中村さんに心打たれ、楽しく聞くことが出来ました。こうして県大は大きく育っていくのだと頼もしく思います。短大が出来たばかりの時、同窓会の会長として卒業式など学生にスピーチしたことを昨日の様に思い出し、現在は会長、副会長が男性で、行動力、言動力等本当に力強い。大世帯になった同窓会をまとめるのは大変だと思いますが、頑張ってください。出来ることがあれば、生きていく内に少しでもお手伝いしたいという気持ちになりました。

- ・田川の活性化に努めている方々の健闘に拍手。継続することの重要性は認識。でも田川は田川。
- ・地域と共にある大学の様子がよくわかりました。同窓会会員としても何か出来ることはないか?と思います。田川がもっと発展してほしい。
- ・それぞれ貴重な動向と発表でした。
- ・県立大の歩みを知ることができ、また、学生さんの活動や中村さんの活動を知り、とても有意義でした。私も田川高校出身で出来れば、ボランティアしたいと思いました。(現住所が福岡なので距離的に厳しいのですが応援しています。)また、県立大同窓会会員で良かったと思いました。
- ・小規模ながら、非常に良かったです。シンポジウムは勉強になり、とてもいいことと思う。ただ、これが基で総会に足が遠のく(堅苦しい、勉強会みたい…)人もいるのではないだろうか。次回の試みで、総会以外はすべて交流にして、同窓生に“みんな楽しく交流しませんか?”という形でPRしてみるのもいいのではないだろうか？
- ・地域の方との繋がりを通じて、学生さんが成長された事実を教えて頂き感動でした。ありがとうございました。
- ・同窓会事業への提言があったと思います。
- ・徐々に盛り上がり、懐かしく、生き生きとした時間を体験できました。少しずつ関わっていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・私は地元ではありませんが、結婚してから田川に移り住んでいます。私は、まだまだ田川に貢献できていないなと実感しました。大学に私のできる範囲で、協力していけたらいいなと思いました。
- ・大学生が地域と共に育つことが大事。協力されている。問題解決しながらよりよい関係になれるよう祈ります。私にできる協力は、していきたいと思います。
- ・大学のこれからを見直し、テーマを考える参考になったと思います。大変充実した同窓会でした。
- ・田川と県大のつながりを強く感じました。田川が少々うらやましくなりました。
- ・田川にあまりなじみがありませんでした。若いパワーを感じました。田川で県立大学がもっともっと地域とのふれあいを大切に活動してほしいと思います。県立大学はほこりです。
- ・田川への熱い思いが伝わり、嬉しかった！私も1つでも何かやってみようと思います。
- ・活動内容や地域の様子がよく、理解できたと共に、努力されている方々の大変さ、素晴らしさを感じる事が出来ました。
- ・県立大、そして田川のことがよく解り、県立大か

近況報告

卒業校別

平成25年8月末までに寄せられたメッセージです。

福岡県立保母養成所

養成 1期 浦田 ヨシエ

体のあちこち痛みながらも、少しの野菜作りに頑張っています。会の成功を祈っています。

養成 2期 岸上 美智子

82才になりました。年相応にあちこち痛み始めましたが、まだまだ元気です。仕事に趣味に学習にと毎日多忙。保育、老人施設に40年間、そのノウハウを生かし、手作り教室を主催、幼児から年長者までふれあいの中で交流を深めています。趣味の書道、油絵、社交ダンス、手話、カラオケetc 年・中・夢求で楽しんでいます。88才の米寿には、作品展開催の予定。その日まで、元気で頑張りたいと思っています。同窓会も合併等で大世帯になり大変だと思いますが、役員の方々、よろしく願いいたします。
(感謝感謝)

養成 6期 矢津田 克子

高齢者になるほどに、しっかり向き合わねばならない試練があることを実感しながらも、毎日を元気にのんきに楽しく過ごしております。毎日午後には、入院中の夫の所へ行き、一緒にテレビを見たり、音楽を聴いたり、元気にのびるヒゲを剃ったり、硬く縮みがちな夫の身体をマッサージして緊張をとってゆったりして、夕方まで過ぎて来ます。ほんの数時間のことですが、それで少しでも入院生活が穏やかで心地よくなることを願いながら、それを私の励みにしながら過ごしております。

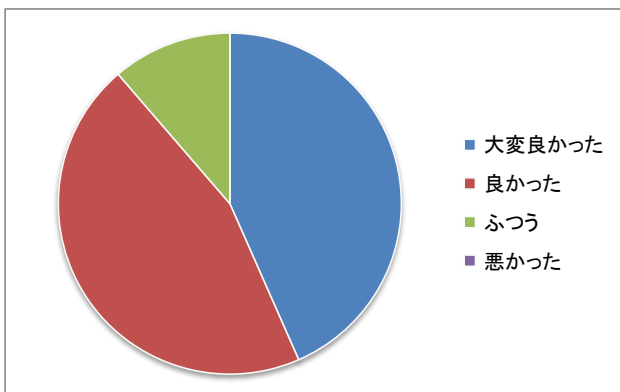
一方で、私は友人と絵遊びグループを作り、公民館（シルバーパーク）の一室を借りて、毎週一回楽しく油絵を描いています。年に一回 福岡県シニア美術展に出品することを目標にして楽しく励んでおります。シニア展に出品するようになって十数年になりますが、福岡県教育委員会賞というものをいただきました。70歳過ぎてもらう賞はこの上ない喜びでございました。以上のようなことが、私の近況でございます。

同窓会員の皆様が、お元気で幸せに過ごされますように、県大同窓会がますます発展されますように心よりお祈り申し上げます。

らいろいろ発信されていることなどを知り、頼もしく思い、益々の県立大、また、同窓会の発展を祈ります。

- ・たのしい一時でした。具体的な活動をしていらっしゃる3人の様子、尊敬です。うれしいです。
- ・田川の具体的な活動について親しみを持つことができました。これからの動きについて、さらに関心を持ちたいと思います。
- ・それぞれに皆さんが、その立場で出来る限り頑張っているのだなあと思動しました。私も何か出来ることをしたいと思います。
- ・田川に対する熱い思い。
- ・他県から田川のニュースを聞くと嬉しく、誇らしく思っています。後輩の方の一生懸命の取り組みを知り、嬉しく思います。秋興祭に行ってみたくなりました。
- ・大学のため、地域のため、自分のため、日々活動なさっているシンポジストの皆さまに感激しました。それぞれの発表を聞き、今後どんな形で学園祭などお手伝い出来るか考え、応援できるか、同期会を開催して同窓会を盛り上げていけるよう努力したいと思います。
- ・こういう楽しいシンポジウムなら、もう少し宣伝したら同窓生も集まるのでは！同窓生が集まるような企画をしてほしい。例えば、五木寛之氏を呼ぶ、有名な歌手を呼ぶ、絶対集まると思う。

懇親会評価



懇親会の流れについてのアンケート

- ・せっかくCDRの話が出ていたので、1ステージあってもよかったかなと思います。
- ・良かったです。(26)
- ・もっと交流の時間を増やしてほしい。
- ・あつという間に過ぎてしまいました。
- ・無理はありませんでした。
- ・良かったです。抽選会の時、番号が最後の方であわてていたの、何か対策があればと思いました。お疲れ様でした。
- ・OKとしましょう。同窓会は遠い存在でしたが、アットホームで身近に感じました。
- ・いまいちでした。
- ・普通 (2)
- ・ちょうど良い。(7)
- ・会場も駅から近くてよかったです。
- ・バランスよく流れた。
- ・当番期紹介、一言挨拶などがあり、また、プレゼントタイムなど、ホッと出来てよかったです。最後の遊び、楽しいことでした。
- ・居心地よく過ごせました。事務局の方の愛を感じましたよ。
- ・ゆったりしていて良かったです。

養成 3期 九玉 庸子

年相応に介護2の生活をしています。杖は使っていません。転ばない様に努めています。

養成 8期 西川 蓉子

この暑さをどうにか乗り越えようと、いっしょうけんめいです。皆さんにお会いしたいのですが、一寸無理なのです。養成所の2年間を度々思い出しています。楽しい時間でした。小さな音でピアノをドレミくらい、時々弾いてみたりしていますが…

養成 9期 黒羽トミ子

健康寿命を延ばすべく、趣味のコーラス、フラダンスサークルで楽しんでいます。又、シルバー体操のリーダーとして地域で活動しています。

養成 9期 眞野 征子

歳と共にあちこち故障が多く、体調がよくありませんので欠席します。県立大学同窓会の益々の御発展を祈っています。

養成 9期 山脇 光子

御無沙汰致しております。皆様お元気でご活躍の事とおよろこび申し上げます。せっかくご案内いただいたのですが、所属しております華道連盟の華道大学が、同じ日に福岡であり、当番となって居りますので大変残念ですが欠席させていただきます。ご盛會を念じて居ります。

養成 10期 日比 堯子

保母養成所時代の10期の皆さん、お元気ですか。関東の生活が長くなり、九州が遠い存在になりつつあります。現在は上野動物園のサービスガイドのボランティアを始め、練馬区内で読み聞かせや特養ホームでのサポートなど、ボランティア活動に励んでいます。

養成 12期 松岡 淳子

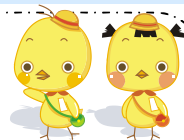
遊びをかねて、ボランティアでほぼ毎日出ています。年1回、大阪、神戸の方5~6人で遊びに出かけています。今年は京都33間堂へ行きました。

養成 13期 後藤 敦子

残念ですが、夫の病気の為出席できません。毎日、25分のウォーキング、ラジオ体操、スクワット等して、元気なチャームングなおばあちゃんを目指しています。同窓会の発展を心よりお祈り致します。

養成 13期 清水 紘子

タオル提供のお礼



同窓会にタオル提供のお願いをしたら、たくさんのタオルが集まりました。本当にありがとうございます。今後も岩手の方に送ったり、小児病棟に届けたり、活動を続けてまいりますので、ご協力をよろしく願いいたします。

養成 14期 一ノ瀬 紀美子

母(91才)の介護で毎日を過しています。その合間に朗読の会で文学に触れ、英気を養い、ボランティアにも参加しています。

養成 14期 石丸 花江

老人介護施設に34年間勤務、定年(65才)退職して3年目になります。今は、孫(3才)の保育園迎えや夕食の準備が私の仕事です。それでも何か目標をもって少しずつでも進んでみよう…と60才後半になればそう思わずにはいられません。そこで、年賀状にその年の目指すことを書き、公表することに…。1年目は退職のお礼、2年目は、近藤麻理恵氏『人生がときめく片づけの魔法』により、家の中をシンプルライフへ、3年目は、念願の写真整理です。今、パソコンに取り込み5割位完了です。もちろん、健康が第一です。家族も周囲の人も、みんなが幸せになれるように。

養成 15期 柴田 悦子(広瀬)

この6月で仕事から離れ、今は気になっていた家の中の整理や野菜作り、読書など、今まで出来なかったことをとと思っているのですが、この酷暑でははかどりません。時間だけはたっぷりありますので、ゆっくりと楽しみたいと思っています。

養成 15期 高橋 和子

44年間の保育士生活を卒業。生命を守り、感性を育むという大きな仕事の肩の荷を降ろし、ホッと一息をついて感謝したのが一年前のこと…。あっという間に月日は流れ、社会の移り変わりを感じつつ、自分の求めるものを更に探求中の日々が続いています。現在、各市民大学、各教室…と心は20才の気分に戻り、“学び続け”を楽しんでいる最中、まだまだ…これ!といった手応えを見つけきらずにいる迷える(?)65才です。今年は当番期。先輩、後輩達を繋ぐお手伝いが、せめてでも出来ると願っての参加です。



福岡県社会保育短期大学

社保短 1期社会福祉科 藤崎 由洋

『社保短1期2期の合同懇親会～恩師を囲んで～』の開催に向けての準備を、幹事長以下で頑張っています。退職後、体力も回復して楽しく生活しています。

社保短 2期社会福祉科 広瀬 伸枝

お陰様で元気に暮らしています。一昨年、これまでの仕事に一旦ピリオドを打ち、現在第2の人生とやらを歩き始めたところです。

社保短 3期保育科 進 久美子

娘(県大4期卒)が孫(2才、4才)を連れて帰省しました。7月下旬の1週間は、それにプラス博多組の孫2人(5才、小2)が加わってそれはそれは賑やかでした。川遊び、プール遊び、鍾乳洞探検と、連日、水と戯れて、「ババちゃんパワー」を發揮し、あきれられました。北九州空港まで送って行った日、色白だった孫2人は「何処の国の子？」というくらい真っ黒でした。ニコッと笑って「また行きた～い。」と東京へと飛び立ちました。

社保短 4期保育科 中西 光恵

保育士の仕事を続け、退職を2年前にし、今は、関連の仕事をまたしております。健康に仕事を続けられることに感謝しています。皆様のご健康をお祈りします。

社保短 4期社会福祉科 入江 和子

残暑御伺い申し上げます。社会福祉科在学中に学んだことを実践する年代となり、戸惑いの連続の中で毎日を過ごしております。福岡県の事業『女性の翼』にも9年ほど前に参加させて頂き、海外研修後の例会にもなるべく参加し、「安心して生きるために」の試行錯誤中です。

社保短 6期社会福祉科 松元 良子

無事、還暦を迎えることが出来ました。今後、元気にまた健やかにという目標を持って過ごしたいと思います。皆様方の健康と幸せをお祈り申し上げます。

社保短 15期社会福祉科 田中 由紀子

昨年10月に退職し、主婦しています。夫の母、実家の父も亡くなり、母1人となりましたので、同居は出来ませんが後悔のないように孝行していきます。

社保短 19期社会福祉科 西嶋 裕子

田舎のクリニックで医療事務をしています。この仕事に就いて長くなりますが、日々、悩みは尽きず、歳とともに固くなっていく頭を叩きながらやっています。同窓会にはなかなか参加できないのですが、毎回案内が届くと大学時代 田川でのことがフツと思い出され、懐かしい気持ちになります。同窓会の盛会をお祈りしています。

社保短 23期保育科 小林 由美子(清留)

ここ田川に来て24年、社保短を卒業して22年、結婚して20年となり、娘も12月で二十歳になります。

小さい頃から保育園の先生に憧れ(私ではなく年長の時の先生に)、私と同じ道に進み、来春から保育士(または幼稚園教諭)になる為、実習に奮闘している娘を見て、私なんかよりもきつと明るく元気ではつらつとした先生になってくれそうな気がしている、今日このごろです。もしかしたら、先輩方がおられる園にお世話になることもあるかもしれません。

先日、娘の短大の役員会に出席したところ、同じ保護者の中に社保短の先輩がおられて、こんなところすごい偶然だと思い、話が弾みました。すずかけ寮という共通の話題もあり、あの『うそコン』の話で大いに盛り上がりました。同期の方々とは、ずっと交流があるとおっしゃっておられましたので、「次回の総会にはぜひ皆さんで田川へ…」とお誘いしました(笑)。

社保短 24期保育科 佐藤 留未子(平林)

吉野保育園に勤務しています。

福岡県立保健婦養成所

保養 4期 神谷 トシ子

同窓会総会準備、御苦労様です。

保養 7期 八尋 敦子

皆さんお元気でしょうか。私はどうにか元気に暮らしています。50年近く一緒に暮らした義母(95才)が2月に入院してしまいましたので、病院通いが多くなりました。三輪車で片道20分走ります。途中、坂道もあり良い運動になります。6月に15本の庭木の剪定を済ませ、ホッとしているところです。これからも4人の孫の成長を楽しみに、ゆっくりと過ごせたらと思っています。

福岡県立公衆衛生看護学校

公衛看 18期 備後 由喜江

当日は、残念ながら先約があって参加できません。ちょうどこの日は日本山岳会熊本県支部の方とスペシャルオリンピックス日本・熊本共催の山登りに参加予定です。今、ボランティア活動として知的障害のある方と一緒に運動(水泳・陸上など)を共に体験しながら、お互い社会生活をより良く過ごす(活動)ことをしております。また、熊本保健科学大学・九州看護福祉大学の看護学生の市町村・保健所実習時の支援もさせてもらい、保健活動の原点に戻り、学生と共に悩んだり楽しんだりして頑張っているところです。

福岡県立看護専門学校

看護婦科 4期 山本 岩代

卒後37年が過ぎました。来年3月で60才となり退職いたします。結婚、出産、子育て 子供達の結婚、父母の看取り、孫の誕生とさまざまな出来事がありました。ずっと同じ職場で38年間勤めさせていただき、円満退職を迎えることが出来ます。家族、職場、地域、友人、上司、看護の仲間の支えがあってのものだと感謝せずにはいられません。健康ですごせたこと、これからも健やかに社会の役に立つことが出来たらと思っています。私用で総会には欠席いたします。皆様のご活躍をお祈りいたします。

看護婦科 5期 井本 邦子

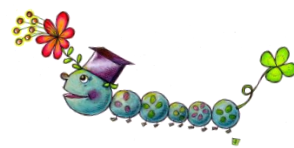
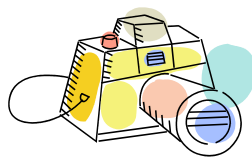
看護学校を卒業して36年になります。あとどのくらい働けるかはわかりませんが、平成29年4月には全病棟新築になるのが楽しみです。息子、娘も結婚し、安心しているところです

看護婦科 8期 花田 美那子

今は、小さなクリニックで看護師をしています。高齢化が進む日本ですが、長年通院して下さっていた患者さんたちも高齢となり、通院できない方々が出てきています。そのような中で今、私達に出来ることはないだろうかと問い、クリニックから自宅へ赴いての診療の補助と看護を少しずつ展開しています。地域の繋がりを大切にして、体が弱っても絆と希望が感じられる老いを過ごしていきたいと願っています。

看護婦科 13期 木村 百合香

現在は、福岡県朝倉県土整備事務所用地課に勤務しております。看護の現場を離れて7年目になりました。が、医療関係の記事やニュースに反応しています。もう現役ではないのですが、職場で時々体調や病気の事、お勤めの病院とか医師とかのお問い合わせがあります。「看護師」としてのネームバリュー?は、離職しても続くので、改めて気の抜けない職業だと思ってます。(バレなきゃ良いか)と思っても、態度や言葉の端々に表われ、私を振り回してくれます。



保健婦助産婦科 1期 山本 サエ子

保助科1回生の皆様、お元気ですか?私は平成22年3月末、38年間勤めた大阪府の保健所を定年退職しました。退職後、築30年の我家のリフォーム、長男の結婚、長崎県佐世保市に1人暮らししていた母の看病、介護、初孫の誕生など、人生のいろんなイベントがあり、また、昨年秋に佐世保の母が亡くなり、喪主を務めました。両親のいない故郷に帰るのは、とても寂しいものですね。8月15日は初盆で、精霊流しの際、精霊船を出す予定です。夫も6月で、第二の職場を退職。今は、夫婦で年金暮らしをしています。大阪へお越しの際は、ご一報下さい。昨年秋には、42年ぶりに看護学校の同窓会を京都で開き、多くの方に再会でき楽しかったです。

保健婦助産婦科 2期 野口 久美子

花の60代まだフルタイムで働いています。高齢者のパワーに圧倒されながら、毎日エネルギーを頂いています。今年、孫が2人誕生し、忙しい日々を送ってます。かわいい笑顔に救われています。

保健婦助産婦科 2期 倉西 邦子(藤井)

現在、IHIグループ健康保険組合で、保健師として勤務しています。

保健婦助産婦科 7期 岩田 志津子

自宅にて自活中。農業(野菜作り)を中心に、月に2~3回趣味のデッサン教室へ通っています。

助産婦科 2期 牟田 悦子

平成21年11月に自宅において『あっぷるばい母乳育児相談所』を開業いたしました。母乳育児相談、ケアはもとより、今年度から五島市の妊婦、乳児訪問の委託を受け、五島のママと赤ちゃんの幸せなおっぱい育てのお手伝いをしています。

助産婦科 13期 出川 智恵

昨年10月より実習指導員として仕事を再開しました。しかし、体調のコントロール、病気と上手く付き合うことが出来ず、とうとう「現在の職場は辞めるように」とドクターから言われる事になってしまいました。8月位から専任教員を目指し、職場を変えるため、就職活動をしようと思っています。大学に行けなかったのが、看護学校でしか教員は出来ないけれど、難病の診断を受けた後、初めて「自分の人生をもう一度頑張ってみよう」と思えるようになりました。古田先生、お元気ですか？やっとなを定め、歩けそうです。

福岡県立大学

社会学科 1期 松永 郁子

総会準備大変でしょうが、がんばって下さい。

社会学科 1期 松島 稔

今夏は1歳と2歳の娘の海水浴デビューでした。10分で終了しましたが、幼稚園に行っていない2人は毎日が夏休み状態で、家では新聞も読むことが出来ません。仕事は、税理士として創業や企業経営の支援をやっています。税理士が必要な時は、お気軽にお声かけ下さい。

社会学科 2期 前田 誠太郎

みなさん、いかがお過ごしでしょうか？ 私は、現在 宗像市役所の職員として働いています。ここ5~6年は新しい制度を設計したり、出資会社を設立したりなどプロジェクト的な仕事や懸案となっている仕事を任せられることが多くなり、たまにブチ切れて上司とケンカしながらもそれなりに充実した日々を過しています。しかしながら、最近、とある病気を患ってしまい、たまに身体に痛みが出て仕事も若干のペースダウンを余儀なくされてます。気がつけばもう38歳になるし、何よりも健康が大切だということに再認識している今日この頃です。まだまだ暑い日が続きますが、みなさんも体調管理にだけは気をつけてお過ごし下さい。同窓会などでまた会える日を楽しみにしています。

社会福祉学科 2期 永井 尚子 (原口)

いつもご苦労様です。同窓会総会に参加するつもりでしたが、子どもの行事の都合で参加できなくなりました。申し訳ありません。昨年まで五年間近く同窓会の事務局でお手伝いさせてもらっていましたが、今年の1月から老健の支援相談員として働いています。福祉の仕事から遠のいて久しく、不安一杯でしたが、右往左往しながらなんとか仕事をしています。利用者の立場に立った仕事ができるよう日々頑張っていきたいと思えます！



人間形成学科 18期 阿南 苑香

今年の3月に卒業しました(*^*)

私は実習でお世話になった保育園に就職しました。園の雰囲気はわかっていたし、先生方も優しくとても働きやすいです。

今は4歳児の担任をしています。毎日へとへとですが、勉強になる日々です。自分の未熟さを突きつけられてへこんで、もっと時間のある学生のうちにいろいろ勉強や準備をしていたらなあ…とも思う日々です。特に実習は経験をそのまま仕事に活かせるので、今更ながらもっとしっかりやっていたらなあと思っています(笑)

これから行事も増えて忙しくなりそうですが、がんばります！

福岡県立大学大学院

人間社会学研究科社会福祉専攻 12期

松尾 菜穂子

福岡県大川市にある 社会福祉法人道海永寿会に勤めています。

人間社会学研究科社会福祉専攻 12期

鎌石 佐織

2010年に卒業しました。主任介護支援専門員として働いていましたが、昨年出産したため、育児休暇中です。今は、子育てしながら精神保健福祉士の勉強をしています。来年1月に受験します。育児休暇明けには、今まで以上に高齢者福祉の世界で頑張っていきたいと思っています。(家庭の事情で転職も考えています。)

おめでとうございます

看護婦科4期

豊田 晴子 (平山)

福岡県知事賞 (母子保健功労賞) 2011年

看護婦科4期

黒田 喜美枝 (西岡)

福岡県知事賞 (看護協会長賞) 2012年

出産おめでとうございます!

県大人間形成学科13期

二宮 飛鳥 (藤原)

第2子男児出産 25.7月

訃報

追悼：謹んでお悔やみ申し上げます。

波多江 愛子 保母養成所2期

H24. 12. 21 逝去

吉田 幸子 保母養成所6期

H25. 5. 30 逝去

社保短から県大に移行する時期に同窓会会長を務めましたが、その間彼女は総会には必ず出席して、私を励まし、支えてくれました。

ご冥福をお祈りいたします。(矢津田 克子)

松尾 黎子 保健婦養成所1期

H24. 12. 25 逝去

山本 千年世 保健婦養成所7期

H22. 5. 20 逝去

又賀 成子 社保短3期社会福祉

H24. 7. 7 逝去

胡 フサ子 社保短3期社会福祉

H24. 12 逝去

岡崎 雅恵 社保短19期社会福祉

H24. 2. 19 逝去

園田 さより 県看保助科1期

H23. 1. 8 逝去

山崎 教子(宮坂) 県看保助科5期

H24. 1. 28 逝去

小林 美加(轟木) 県看看護婦科13期

H24. 12 逝去

同期の皆様へ

保母養成所6期 幹事 矢津田 克子

保母養成所6期の皆様、いかがおすごしでしょうか。平成20年10月の70歳の同期会から、早5年、今年はほとんどの皆様が75歳となり後期高齢者の保険証を手にとられることでしょう。

さて、20年の同期会の後に安永(旧姓上田)さんと福井(旧姓江田)さんが県大同窓会が催した福引きに当たり商品券3,000円をいただいたが、自分1人で使えないと、私の方で使ってほしいと持って来られました。私もどうしたものか戸惑いましたが、同期会の通信費にでもと思い、計6,000円お預かりしておりました。しかし、その機会を持つことができずにおりましたところ、2年前日本中を恐怖と悲しみに陥らせた東日本大震災があり、県大同窓会も被災者への支援募金に取り組みをされました。私は迷うことなく、最高の使い方だと思い、お預かりしたお金を寄付させていただきました。大変遅い事後報告となりましたがご了承ください。安永さん、福井さん、喜んでくださいね。重荷をおろした私が一番気分が晴れやかです。

最近では同窓会の幹事会にも出席せず、名前だけの幹事となっておりますが、余力のない現実をご理解ください。

皆様が、日々、穏やかでお幸せにすごされますよう心よりお祈り申し上げます。

幹事交代のお知らせ

保母養成所

15期 川口 克代 → 小野山 加代子

事務局では幹事募集を会報でお知らせいたしますので、同期の方々に声を掛け合って、負担にならないように幹事を選出くださいますようお願いいたします。

★事務局より★

同期会開催予告、開催報告を事務局までお寄せください。同期で声をかけ合って、集まり、近況を話し合い、卒業しても支えあい、繋がりを紡いでいく。同期会の積み重ねこそが同窓会活動に広がりを与え、深みをみせていくことになるでしょう。

★事務局より★同窓会会員の慶弔に際し、同窓会より電報を送信しています。慶弔事項をFAX E-mailで同窓会事務局にご連絡ください。各期幹事に慶弔事項の問い合わせをしていますが、追加慶弔事項がありましたら事務局までお知らせください。また旧教職員(旧県看職員を含む)も特別会員として電報送信をしています。

同期会報告

県看護婦科4期 幹事 石橋 久美子

2012年7月15日（日）天神梅の花にて、看護科4期の同期会を開催。幹事、北光（野見山） 亀井（中原）両氏のお骨折りに依り、お元気な川野先生をお迎えし、出席者14名、中には36年振りに会えた方、36年の間に数回、会えていた方、等々、懐かしい顔に一気に学生時代にタイムスリップし、思い出話に花が咲きました。

一番遠くからは、北海道の鎌田（加藤）さん、同期会の度に欠かさず、神奈川から来られる松本（縄田）さん、東京から最近故郷の大分に帰って来られた、淵（野中）さん、長崎から島田（宮原）さん、等々、でした。次回は一番若かった方々が近々、還暦だそうです。

還暦祝いを兼ねての同期会になりそうです。ふるって出席下さい。



県看護婦科4期の皆さん

福岡県立大学 1期生同窓会のご報告

県大 社会学科1期生 今井 尚也

8/11（日）福岡県立大学の1期生を中心とした、卒業後初めての単独同窓会を博多駅近くの居酒屋で行いました。お盆の帰省の時期が幸いしてか遠方から家族連れでの参加もたくさんあり、44名の卒業生で楽しいひと時を過ごすことができました。

私は社会学科を卒業してからずっと福岡の住宅会社で営業の仕事をしています。仕事から毎日たくさんの方と会い、自己紹介する事が多いのですが「福岡県立大学出身です」と話しても殆んど知っている人はいませんし、県大の卒業生に会った事ありません。私達の代は、県外出身者が多く卒業後もずっと世の中は不

景気。仕事や家事に追われてなかなかみんなで集まることもできず、「社会に出て県大の卒業生に会うのってこんなに難しいんだ」と実感する17年間でした。「いつかみんなで会いたい」そんな夢が実現しました。

当日会えた同窓生は大半が卒業以来初めて会う人や、在学中でも殆んど話をしたことがない人でした。はじめはとても緊張したのですが、小さな大学の良いところで、なんとなく皆が顔見知り、すぐに打ち解けているんな話で盛り上がる事ができました。17年間で夫々の環境が大きく変わり、興味深い話ばかり。家には高校生の子供がいるという友達もいれば、幼児を連れて来てくれた友達もたくさん居ますし、中には今お腹の中に赤ちゃんがいるという頼もしい友達もいました。ご主人が海外に単身赴任をしていたり、東北で被災した経験を話してくれた友達もいて夫々の17年間の重みを感じました。たぶんみんな、あの席では話せないようなつらい経験もきっとあったと思います（私もその一人です）が、それぞれみんな社会に背を向けずに、力強く一生懸命に生きている姿に会えて県大生のたくましさやアイデンティティを強く感じ、ポケットいっぱいに勇気を分けてもらって家に帰りつきました。

日程の関係で参加したくても来れなかった人や、時間の関係で居合わせながら殆んど話せなかった人、同じ田川で同じ多感な時期を過ごした同窓生というだけで、話したい人はまだまだたくさんいます。今回数名参加してくれた2期生以下の後輩も含めて、少しずつでもこの輪を広げて次回に続けて行きたいと思いました。

最後になりましたが、今回の企画の為に自分の時間を割いて手伝ってくれたスタッフ、応援してくださった福岡県立大学同窓会事務局の皆様、当日思い切って参加してくれた同窓生の皆様にこの場を借りてお礼を言わせて頂きます。楽しい時間をありがとうございました。またやりましょう！



★事務局より★

名簿情報につきましては、同窓会個人情報保護方針を順守し、管理しております。同期会開催の折など必要な場合は、同窓会事務局までお問い合わせください。

同窓会活動への寄付者一覧

同窓会活動は、会員からの年会費と入学者の入会金で、支えられていますが、不況の影響、会員の増加等、種々な要因から、同窓会年会費納入率は低下していました。本年度総会案内に年会費納入願いを同封しました。その際、同窓会活動への寄付をお願いしましたところ、下記の方々より寄付が寄せられております。お名前を掲載するとともに、お礼申し上げます。寄せられました寄付金はこれからの同窓会活動に有効に活用させていただきます。ありがとうございました。(敬称略)

福岡県立保母養成所

1期 浦田ヨシ江
2期 村上みさ枝
2期 斉藤幸子
2期 田上久美子
2期 岩隈明子
3期 木村博子
4期 糸静子
4期 月脚雅子
4期 鬼塚博子
5期 高橋和子
6期 矢津田克子
6期 西洋子
6期 宮崎陽子
6期 安川恵子
6期 阪田征子
6期 本井貞子
6期 福井尚子
7期 森光千佐子
7期 高淵敦子 (城戸)
9期 眞野征子
9期 山脇光子
9期 中島和子
9期 野間口美智子
10期 Y10-503
11期 轡水信子
13期 清水紘子
13期 渡邊祝子
14期 井上和子
14期 野坂留美子
14期 石丸花江
15期 浅野安子
15期 松尾よし子

福岡県社会保育短期大学

保育科1期 宮崎敏子
保育科1期 柳井えつ
保育科2期 田中啓子
保育科2期 井上朱実
社会福祉科3期 平田恵子
保育科4期 中西光恵
社会福祉科4期 小川歩子
保育科4期 高村悦子
保育科4期 中野左枝
社会福祉科5期 鬼木八重子

保育科5期 匿名
保育科5期 甲斐敏子
社会福祉科6期 匿名
保育科7期 古野祐子
社会福祉科7期 山本富士江
保育科7期 黒木美和子
保育科7期 松浦誓子
社会福祉科8期 匿名
社会福祉科8期 村井豊子
社会福祉科9期 白水智子
社会福祉科9期 井福寿子
保育科9期 平野信子
社会福祉科10期 濱崎清香
保育科10期 小川ひとみ
社会福祉科12期 横田ひとみ
社会福祉科12期 徳永裕美
社会福祉科12期 釜崎千鶴子
保育科13期 向井妙子
社会福祉科14期 匿名
保育科14期 平川美智代
保育科14期 阿部佐恵子
保育科14期 匿名
保育科15期 左広美
社会福祉科15期 秋枝いをり
保育科15期 秋元裕子
保育科16期 村瀬瑞穂
社会福祉科17期 匿名
保育科18期 福岡真由美
社会福祉科18期 出雲由香
社会福祉科19期 宇越郁子
社会福祉科19期 西嶋裕子
保育科22期 林由美
保育科23期 小林由美子
社会福祉科24期 小松純子

福岡県立保健婦養成所

1期 田中銀子
3期 丹以久代
10期 箕輪尚子
10期 石橋照子

福岡県立公衆衛生看護学校

11期 香山充子
11期 新屋志摩子
12期 松本初子
14期 木下チヨコ

14期 子道寿美子
15期 徳永文香
18期 備後由喜江

県立看護専門学校

保助1期 山本サエ子
保助1期 園田さより様御家族
保助2期 梶原博子
保助2期 野口久美子
保助3期 柳川精子
保助4期 小路ますみ
保助7期 岩田志津子
看護2期 野田洋子
看護3期 匿名
看護3期 松延美代子
看護4期 山本岩代
看護4期 仲山淳子
看護4期 石橋久美子
看護5期 吉田裕子
看護5期 荒巻弘美
看護5期 匿名
看護5期 野田順子
看護5期 小寺一恵
看護6期 中川繁子
看護7期 西利江子
看護9期 椿山勝代
看護12期 山中真理子
看護14期 宮崎久枝
看護23期 古賀恵
保健2期 藤村幸子
保健4期・看護11期 小泉孝子
保健4期 大塚浩子
保健4期 一木真澄
保健4期 山本八重美
保健8期 浅利千里
保健11期 西岡定美
助産3期 安森絹枝
助産5期 小田しおり
助産6期 河野久美
助産6期 早瀬千文
助産7期 山口真実
助産20期 倉重潔子

福岡県立大学

社会福祉学科1期 匿名
社会学科2期 前田誠太郎
社会福祉学科3期 池本隆幸
人間形成学科4期 匿名
社会学科4期 池田誠二
人間形成学科8期 緒方貴子
人間形成学科10期 匿名
社会福祉学科11期 渡邊沙織
社会福祉学科13期 伊藤良子
社会福祉学科15期 浅田彩香
社会福祉学科18期 野見山綾夏
10月15日現在135名総額435,750円

大学教員動向

<退職された先生> 平成24年度退任
 安酸 史子 教員兼務理事 教授
 中野 榮子 教授 (看護学部)
 北川 明 講師 (看護学部)
 永田 瞬 講師 (人間社会学部)
 林 ムツミ 助教 (人間社会学部)
 山住 康恵 助教 (看護学部)

福岡県立大学応援歌

県立大学応援歌のCD作成が行われています。作成には今年度総会シンポジストの中村成也さん(県大7期)も関わっています。出来上がったCDは、卒業式に配布予定です。

福岡県立大学応援歌

～しゃんとせ (英彦 (えひこ) の流れ)～

作詞 渡辺 恵美子

作曲 中村 成也

1 香春岳 朝日に匂う (におう)
 希望に燃える 若人 (わこうど) が
 嗚呼 英彦 (えひこ) の流れ 汲 (く) むところ
 我等の行く手は 希望に光りて

張り切れ県大 しゃんとせ
 しゃんとせ しゃんとせ
 太鼓

シャントセ シャントセ 田川
 シャントセ シャントセ 県大

2 聳 (そび) え立つ 母校に育つ
 英知に学ぶ 若人が
 嗚呼 英彦の流れ 澄 (す) むところ
 我等の未来 (あした) は 英知に溢 (あふ) れて

張り切れ県大 しゃんとせ
 しゃんとせ しゃんとせ
 太鼓

シャントセ シャントセ 田川
 シャントセ シャントセ 県大

3 自治 (じち) の里 笑顔に満 (み) ちる
 大地に踊 (おど) る 若人が
 嗚呼 英彦の流れ 継 (つ) ぐところ
 我等の力 (ちから) は 大地に走りて

張り切れ県大 しゃんとせ
 しゃんとせ しゃんとせ
 太鼓

シャントセ シャントセ 田川
 シャントセ シャントセ 県大

第22回秋興祭PR

第22回秋興祭実行委員会

実行委員長 上野美郷

(人間社会学部社会福祉学科3年)

平成25年度福岡県立大学秋興祭は、11月9日・10日を持ちまして第22回を迎えることになりました。我々実行委員会は、今年の秋興祭のテーマを

祭大級の笑時 (ショータイム)

～にやんとも楽しい2days～

に決定いたしました。テーマには最大級の笑顔と日頃の感謝の気持ちをこの2日間のショータイムで秋興祭実行委員会を支えてくださっている全ての皆様、そして来場して下さる全ての方々にお届けしたいという思いを込めています。また、今年実行委員が100人を超え最大級のメンバーになったことにもかかっています。

今年のゲストは、

9日土曜日 インパルス、ぶんぶん丸、

10日日曜日 笑い飯、レモンティー

に決定し、実行委員もますます準備に力を入れています。

同窓会からテントの寄贈を受け、感謝の気持ちでいっぱいです。今年の秋興祭も来場者の方々に心から楽しんでいただけるように、盛大に盛り上げていきたいと思っています。



今年も多くのの方々の
ご来場を待ちしております!

じえじえ！なあ〜んと 秋興祭チケットプレゼント

22回秋興祭（11月9日・10日）当日、同窓会ブースへお立ち寄りの同窓会会員（在学生会は除く）へ秋興祭チケット（500円～1000円）をプレゼントします。同窓会ブースにて会報封筒宛名部分と引き換えにチケットを先着1日50名にプレゼントいたします。プレゼントチケットは学生主催の模擬店で使えます。2日限り有効です。現金との引き換えはいたしません。ぜひ、県大秋興祭へお越しください。同窓会ブースでお待ちしています。

○同窓会ブースでは、フリーマーケットや写真展示を行っています。

ご家庭に未使用の品物がございましたら、ご協力お願い致します。衣類（キズ、汚れのないもの）、日用品（新品）、雑貨（新品）等を同窓会事務局までお送り下さい。よろしくお願い致します。

○同窓会ブースで販売したい物品等ありましたら、事務局へご相談ください。飲食物はご遠慮ください。



事務局（問い合わせ・フリーマーケット用品受付）

〒825-8585

福岡県田川市大字伊田4395

福岡県立大学内 3号館1階 3108

福岡県立大学同窓会事務局

TEL (FAX共用) 0947-42-2777

E-mail: kendai-dosokai@kbf.biglobe.ne.jp

○日曜日にはデコスイーツ（お菓子の形をしたストラップやマグネット）講座を行います。 製作品↓



販売品 ↑

秋興祭へのテント寄贈！

大学より秋興祭で使うテントが不足しており寄贈のお願いがありました。

それを受け、今年度同窓会からテント5張りを寄贈いたしました。秋興祭で、どこに同窓会寄贈のテントがあるか、探してみてくださいね！

入会金・会費規程その後

平成23年8月21日開催の第24回同窓会総会にて入会金・会費規程が審議され、本同窓会では会費の減免を認めることに決定し、平成24年4月1日から施行しております。

★シニア：75歳以上（4月1日現在75歳以上）の方。

長年会員として貢献されていることや年金のみの収入では、会費等を捻出することが厳しい方もおられる等のことを踏まえて、75歳以上の会員を対象として減額制度を作りました。

★パートナー：発送住所同一の会員が、郵送物一括発送を望む方。

★ファミリー（親子・兄弟姉妹など）：発送住所同一の会員が、郵送物一括発送を望む方。

パートナーとは、県立大学卒業生同士の結婚、若い世代が二人分の会費を払うのはなかなか厳しい、また、同じ住所なので、会報等郵送物を一緒に送って欲しい等の声が出ておりましたので、郵送料を中心とした減額制度を規程に盛り込むことにしました。ファミリーにおいても同様です。

★会費一人につき減額500円、減額後の会費は年額1,000円となっております。

会員への周知として

「福岡県立大学同窓会会費減免のお知らせ」

①同窓会サイトにて 平成24年2月より掲載

②同窓会情報にて 平成24年3月号に掲載

③同窓会会報にて 平成24年7月発行号より毎月掲載しております。

現在、22名の方より申請があり、パートナー12人（6組）、ファミリー0人、シニア10人の方が減免申請され、制度が適応されております。

会報24号訂正とお詫び

会報24号にて猪俣様の文章で文字の入力を間違えておりました。ここに訂正し、深くお詫び申し上げます。

掲載箇所	誤 → 正
10頁右	予防終生 → 予防衛生

会報の校正

現在、会報編集は会員の皆様よりいただいた原稿を事務局で入力、編集ソフトを使って編集後、幹事会または常任幹事会にて会報発行の承認を経て、データを印刷業者に搬入、印刷、発行、発送しています。寄稿者の氏名、卒業期は、名簿、原稿と擦りあわせ、校正を繰り返し行っております。気づかれました誤植、訂正箇所など、事務局までご一報くださいますよう、よろしくお願いいたします。

同窓会事務局スタッフ募集

あなたの空いている時間を
同窓会活動に貸してください。

勤務地 福岡県立大学同窓会室（田川市）
勤務時間 土日を除く週1～2回一回4時間程度
仕事内容
・同窓会に関わる事務一般
・同窓会会報編集等
・同窓会会員個人情報管理
ワード、エクセルの入力可能な方、
在学生と社会福祉、看護等について話をしてみたいと思われる方
田川市またはその周辺で県立大学同窓会室に通勤可能な方
交通費実費支給

○詳細については同窓会事務局へお問い合わせください。

【連絡先】

〒825-8585

福岡県田川市大字伊田4395 福岡県立大学内
3号館1階3108

福岡県立大学同窓会事務局

TEL 0947-42-2777 (FAX共用)

【申請手続きについて】会費減免の手続きにつきましては、7月に発送された「第25回福岡県立大同窓会総会」案内に同封の「会費減免の手続きについて」をお読みいただくか、または同窓会ホームページをご覧ください。減免の申請は毎年7月末日までとなっております。それ以降の申請の場合は、翌年度からとなります。

本同窓会は、会費納入率が年々下がり、平成23年度24年度の会費納入率は14%となっております。その為、予算的に厳しい運営をしており、会報25号は、発送対象を年会費納入者に限らせていただきました。

少しでも払い易い会費規程を目指し、長年の同窓会活動への功労者への会費免除や、永年会費（永久会費）については議論を続けているところです。また、今回の総会にて、障がい者への減免申請の提案がありました。障がい者だけでなく、全ての福祉への配慮を考え、幹事会にて議論をし、今後、総会へ提案していきたいと思っております。

同窓会会員の絆を結び、つながりの輪を広げる同窓会活動、同窓会事業展開のため、年会費をよりお支払いただける取り組みを今後も検討していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

お知らせ

次回、総会は平成27年度、田川市
(予定)です!!

詳細は次回会報26号にてお知らせ
いたします。

声かけあって同期の集まる機会と
して、総会を盛り上げましょう。

★使用済み切手、書き損じはがきを!

いつも使用済み切手、書き損じはがきを同窓会事務局へお寄せいただき本当にありがとうございます。寄せられた使用済み切手や書き損じはがきは、定期的に、

★盲老人ホーム聖明園

★FM福岡モーニングジャム

に送らせていただいております。

これからも長く続けていきたいと思っておりますので、皆様のご協力
よろしくお願いいたします。



「つながり」を求めている私たちの思い

～ねじれ同窓会の現状～

福岡県立大学には**二つの同窓会**があります。福岡県立大学同窓会と福岡県立大学看護学部同窓会です。看護学部同窓会は平成19年3月に看護学部第1期卒業生が立ち上げた同窓会です。一方、福岡県立大学同窓会は、福岡市内の保母養成所が産炭地復興の施策の一環として短大へと昇格し田川市に設置され、短大から四年制大学へと移行してきた前身校卒業生を含む同窓会へと一本化してきた流れを持ちます。

福岡県立看護専門学校卒業生の方々、その前身校である保健婦養成所、公衆衛生看護学校卒業生の方々と共に県立看護専門学校同窓会を組織されていましたが、母校が廃校になり、平成15年県立大学看護学部が設置されました。これを受けて、平成16年に県立看護専門学校同窓会の方々は、**県立大学看護学部卒業生・在学生とのつながりを求めて福岡県立大学同窓会へ加入**されました。県立大学看護学部1期生を応援し県立大学同窓会へ迎え入れようと考えていました。

そんな思いの中、福岡県立大学同窓会には何の協議もされることなく、一方的に平成19年に看護学部同窓会立ち上げとなりました。県立大学看護学部同窓会会則には「福岡県立保健婦養成所、福岡県立公衆衛生看護学校、福岡県立看護専門学校の卒業生に関しては入会の希望があれば本会員とする。」との規定がありますが、いまだその話し合いは、進まぬ状態です。前身校卒業生は県大同窓会に所属し、看護学部卒業生とのつながりを求めながらも、同窓会としてはねじれ現象が起きてしまっています。

ねじれを解消し「つながり」を求めていくあり方は、いくつかあると思います。県立大学同窓会は無理矢理の吸収という一本化を望んでいません。それぞれ独自の専門性、流れを汲む人間社会学部同窓会、看護学部同窓会があり、それを緩やかに結び合わせた県立大学同窓会というスタイルも考えられます。同窓会がお互いの現状や想いを話し合う機会を持ちたいと現在までも適宜協議の申し入れを行ってききましたが、残念ながら現在まで、前向きな回答をいただけていない状況です。しかし今後とも話し合いの要請を行っていきたいと思います。

看護学部同窓会立ち上げの時に看護学部1期卒業生の強い思いと本会への入金返還要求などから、県立大学同窓会としては、看護学部同窓会を批判することなく会員皆様にお声掛けすることが困難な時期がありました。看護学部同窓会が立ち上げから6年経過したことを鑑み、私達の思いを前向きに伝えていく時が来ていると感じています。

県立大学同窓会会員の皆様、在学生の皆様、看護学部同窓会会員の皆様、ねじれ同窓会の現状をご理解いただき、看護、医療、福祉、保育の現場で卒業生に出会ったら、この話をしてください。多くの卒業生の方に知っていただくことが現状を改善する始まりです。

前身校の流れを断ち切らない、「つながり」を求めていく同窓会の再構築にご理解・ご協力お願いいたします。

ご意見とご要望への対応



いただいたご要望、ご意見には、なるべく迅速に同窓会事務局で対応させていただきたいと思いますが、会報の訂正につきましては、次号での訂正となりますことをご了承ください。また、要望の中には、案件として、四役会、常任幹事会、幹事会で検討を重ね、時間をかけての対応とさせていただくものもあるかと思えます。

会員一人ひとりのご意見、ご要望を大切に、検討、改善を積み重ねていくことが、身近につながるの輪を感じる同窓会活動の構築になると考えています。今後も同窓会活動へのご意見、ご要望をお寄せいただきますよう、よろしくお願いいたします。

福岡県立大学同窓会

〒825-8585

福岡県田川市伊田4395

福岡県立大学内 3号館1階 3108

福岡県立大学同窓会事務局 (月・水・金)

TEL (FAX 共用) 0947-42-2777

E-mail: kendai-dosokai@kbf.biglobe.ne.jp

URL: <http://www7b.biglobe.ne.jp/~kendai-dosokai/>

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~kendai-dosokai/mobile/index.html> (携帯)

同窓会室日記 <http://23312459.at.webry.info/>

